

表象 represent

再現前化すること, されたもの。

Perspective

遠近法、透視図法、透視画法、人工的遠近法、望遠図法

投影、展望、見通し、光学 (ラテン語でPerspectiva)

透視図以前の世界

ギリシア美術

ビザンチン美術

透視図法の確立 ルネサンス

ブルネレスキ

アルベルティ『絵画論』1453年

透視図法を論理的に裏付け、数学的一貫性を取り入れた。

デューラーの遠近法補助具

マサッチオ『三位一体』1425頃

フラ・アンジェリコ『受胎告知』1438頃

レオナルド「絵画論」

レオナルド『最後の晩餐』1495-97

カメラのまなざし

マンテーニャ『死せるキリスト』1460頃。望遠の構図

キルヒャーによるカメラオブスキュラの原理の図解

カナレット『総督宮にもどるブチントーロ船』1730頃

ティエポロ「芸術の勝利」1731頃：圧倒的な視覚的イリュージョン

ベラスケス『侍女たち』1656：視線の交錯する複雑な空間

図法幾何学Descriptive Geometry

Gaspard Monge, 18世紀フランスの数学者

コンピュータで投影図を作成するためのパラメータ

「最後の晩餐」の図学的分析：透視図から空間を逆算

透視図法を超えて

視覚のピラミッド？

セザンヌ「果物、ナプキン、ミルク差しのある静物」1880頃

ジョルジュ・ブラック「レストランの家々」1908：セザンヌ的キュビズム

ピカソ「アヴィニヨンの娘」1907複数の視点を一挙にもつ。分析的キュビズム。

デュシャン「階段を下りる裸体 No.2」1912畳み込まれた運動と時間

Muybridge, Descending Stairs and Turning Around, 1887

High Dynamic Range Image 隅々まで適正露出, 可能な限りの詳細がすべて見える写真

中西泰人「カメラバー」2005 重ね合わされた時間

参考文献

伊藤俊治「電子の遠近法：美術史とCG」藤幡正樹監修『コンピュータグラフィックスの軌跡』ジャストシステム、1998

小山清男、面出和子『造形の図学』日本出版サービス、1982

末永照和監修『カラー版 20世紀の美術』美術出版社、2000

ウィリアム・J・ミッチェル『リコンフィギュアード・アイ：デジタル画像による視覚文化の変容』伊藤俊治監修、福岡洋一訳、アスキー、1994

『西洋の美術：その空間表現の流れ』展カタログ、国立西洋美術館、1987

ヘルマン・ゴチェフスキ『知の遠近法』講談社、2007

Edward Tufte, Beautiful Evidence, Graphics Press LLC, USA, 2006

ミシェル・フーコー『言葉と物』渡辺一民、佐々木明訳、新潮社、1974